

## 令和2年度第6回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和3年2月16日（火）午前9時30分から午前10時30分

と ころ：市役所5階 504会議室（WEB会議）

### 1 出席者

小平市社会教育委員 10名  
傍聴者 2名

### 2 内 容

#### <事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

##### 【教育部】

(1)緊急事態宣言に伴う事業等の対応について（報告）

##### 【地域学習支援課】

(1)令和3年成人式（結果報告）

##### 【公民館】

(1)公民館主催イベント(1月)（結果報告）

(2)公民館主催イベント(3月)（開催）

##### 【図書館】

(1)本の福袋（結果報告）

(2)第41回ふるさとの新聞元旦号展（結果報告）

#### <その他>

特になし

### 3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

#### <事務局報告>

##### ○緊急事態宣言に伴う事業等の対応について

委 員 公民館について緊急事態宣言が延長され、夜間だけでなく、日中も不要不急の外出を自粛するようになってことで何か利用に変化があったか。

事務局 現在、昼間の施設貸出は平常どおり行っている。そのなかで、消毒等をしっかりやろうと職員に内部での意識確認を行っている。また、団体から昼間の利用についても辞退の届け出がある。会員が集まらない、新型コロナ対応で自粛したいというのが主な理由となっている。

委 員 図書館のブックリサイクルは時期をみて今後も実施を検討しているのか。

事務局 今回中止という判断をしたが、機会をみてやり方等を工夫して実施したいと考える。

##### ○令和3年成人式について

委員 3点ほど申し上げたい。

式の途中で休憩か入ったが何時から再開という目安がなかった。

式終了後、小平市成人式というツイートがなく、ネットの敏感性があまりなかった。今後、WEBサイトを見据えて行うには、ツイートなど並行して行う仕組みを作っておく必要があると思う。

地域と成人とのつながりの中で、成人式というのは結構な比重をしめていて、中学校がキーになっているのではないかと思う。

小平市に来られない人の受け皿を考えて実行することで、小平市に対する新しい見方が出るように、総合的に考えていただきたい。

事務局 インスタグラムでのライブ配信のみに切り替えることを決定したのが、5日前ということもあり、至らない部分の指摘はしっかり受け止めて、今後の改善として意見を賜りたい。

インスタグラムでの配信に変更する旨は、市内の約2,400人の対象者の方全員にQRコード付きの案内を郵送した。

小平市の公式ホームページ、ツイッターなども利用したが、やはり周知期間が短かったことは否めない。

地域と成人のつながりという点では、当初のやり方が実際にルネこだいらにご参加いただくのと併せて、インスタグラムも並行してライブ配信する予定だった。小平市外に転出などした方にも様子をご覧いただけるよう、今後も継続して配信を実施していきたいと考える。

委員 開催方法についての案内文に添付の二次元バーコードを読み取ってインスタグラムに入ったが、ライブ配信に不慣れで、つながった時には終了していた。どうしたら動画につながるのか、わかりにくい感じがした。やり方をきちんと検証して次回に結びつけてほしい。

事務局 様々な角度から検証はしているが、今後もし指摘等あればその都度ご意見をいただきたい。

委員 異例づくめで実行委員も大変だったと想像する。実行委員の方たちの率直な感想や意見があればお聞かせ願いたい。

事務局 実行委員の皆様は夏ごろからオンラインでの会議を重ねてきた。12月半ばのルネこだいらでの事前打合せが初めての顔合わせとなった。全員がそろったのは前日のリハーサルとなり、当日は緊張した面持ちでいたのを画面上でも確認いただけたと思う。ただ、楽屋では本当に和やかで皆さん晴れ晴れとした表情で過ごしていた。

委員 成人式の案内はがきに抽選番号が書いてあり、後からはがきを請求した方にも番号が控えられていて、心配りがすばらしいと思った。

抽選後はどのくらいの方が景品の受け取り申し出があったのか。

事務局 自転車2台は受け取りがあった。ブラックサンダー1年分は一人の方は受け取られたが、もう一人の方は確認の回答がなかったため、再抽選をして改めて当選者の方からの回答を待っている。FC東京ロゴ入り名刺入れは12本のうち4本が連絡なく、再抽選をして回答を待っている。

### ○公民館主催イベントについて

委員 洪沢栄一さんの講演会はまさにタイムリーな講演であったと思う。先ほど、40歳以下の若い方がいらしていたと説明があったが、アンケートなどを取ったの結果なのか。また、若い方々がいらしたということは、何か今までとは違った広報、工夫があったのか。

このような成果が出たことで、今回の取組について改めてどこがよかったか検証していただき、今後もこのような公民館を周知する機会となるような事業を展開していただきたい。

事務局 申し込みの段階で年齢層は把握していた。

広報については、改めてこれまでと違った方法をとったということではなかった。アンケートでは市報を見たという回答が多かった。

タイムリーな話題を適時に届けられたといったところだと思っている。

### ○公民館について

委員 土曜日に開催されている「友・遊子どもまつり」について、子どもたちはどうしても密になる可能性があると思うが、名簿等の把握はどうしているのか。

事務局 非接触型体温計で一人一人体温を測っている。また、学校名、学年など書いてもらい把握をしている。

委員 事業企画委員会では横のつながりがあるのか。

事務局 基本的には会議のなかで情報交換をしていただいております、関係する機関や委員の間で、情報提供、情報共有を通して横のつながりをもっている。

委員 公民館の記念誌を見て感じたことだが、公民館は市民の学びの場であり地域コミュニティを形成するというようにある。私がオンラインの会議に参加するようになって思ったのが、こういうコロナ禍でもやはりそれぞれの事情によって家から出にくい人、出られない人っていらっしゃると思う。そういった方々にも学びの場というか情報交換とか交流の場というのでこのオンラインというのは、とてもいいなと思った。これからコロナが収まって元の生活に戻っていくかもしれないが、誰一人取りこぼすことなく学びの場が提供できるようなそういう体制をこれからもずっと続けていただきたい。そして、もっと盛んになるといいなと思った。

### ○図書館について

委員 教育委員会だよりに「第3回なかまちテラスティーンズ委員会大賞が決定しました」という記事があった。この委員会はどのような方たちがいて、どういった活動しているのか。また、こういう活動があることを皆さんに知ってもらう機会がもっとあったほうがいいと思う。

事務局 この活動は子どもたちの読書活動を推進してこうという目的で、中学生、高校生の皆さんがおすすめしたい本を投票し、大賞を決めるというものである。今回大賞となった本の作者と連絡がとれ、急遽、オンラインでの交流が決定し、実施した。中高生が質問をし、作者がそれに直接答えるなど、中高生の参加者にとって今後のいろいろな活動の励みになったのではないかと考えている。本年の委員会では対面での活動ができなかったが、オンラインを通してこのような活動が

できた。

周知については、今回教育委員会だよりに掲載したようなことを広く市内の中  
高生等に広め、広く参加をお願いしたいと考える。また、今年度の活動について  
まとめたパンフレットを作成し、広報に活用したい。

委 員 福袋のアイデア募集については、どのようなアイデアが寄せられたのか。

事務局 76袋のアイデアが寄せられたが、いろいろな分野にまたがっていた。大人向  
け、あるいは児童向けと幅広く作っていただいた。